


令和5年度 第1回学校運営協議会議事録

日 時	令和5年4月26日(水) 14:00~15:00
開催場所	下野市立南河内第二中学校 会議室
参加者	<p>〔委員〕</p> <p>あきもと ふみこ いざわ としこ おおもり ゆきこ くまだ ひろこ こすぎ まりこ 秋元 史子 伊澤 登志子 大森 由貴子 熊田 裕子 小杉 満理子</p> <p>さかくら つかさ はやし こういち よとりやま のりこ たざわ こういち なかざと あつし 坂倉 司 林 宏一 世取山 紀子 田澤 孝一 中里 篤</p> <p>〔事務局〕</p> <p>たかやま やすこ 高山 靖子</p> <p style="text-align: right;">(11名)</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校長あいさつ 2 任命書交付 3 学校運営協議会の趣旨等の確認 4 会長・副会長の選出 5 今年度の学校経営の基本方針の承認(校長) 6 パワーアップアクションプランについての提案(地域連携教員) 7 協議並びに情報交換 8 連絡・その他(事務局) <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の学校運営協議会年間計画について ・下野市ふれあい学習推進委員会委員の選出
議 事 高 山 田 澤	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 ・自己紹介 <p>【1 学校長あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度は、学校運営委員会の皆さんにはご尽力いただき感謝申し上げます。今年度も皆さんの意見を反映させながら、よりよい活動を行っていきたい。 ・以前勤めていた10年前に比べ、生徒数は半分になり、学校のあり方も変わってきている。地域に根ざした、地域に開かれた学校をめざしていきたい。学校運営協議会は、その中核として協力をお願いしたい。



<p>高 山</p> <p>田 澤</p> <p>高 山</p>	<p>【2 任命書の交付】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、林さんと世取山さんが新たに委員になられた。 ・代表として世取山さんに任命書を交付。 ・任命書の交付。 <p>高 山</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様にご自己紹介をお願いします。 <p><各委員の自己紹介></p> 
<p>高 山</p>	<p>【3 学校運営協議会の趣旨等の確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の学校運営マニュアルを見ながら「学校運営協議会の役割」の確認。 ・地域学校共同活動推進委員は、昨年度からの継続で上野保久様。本日は、欠席。
<p>高 山</p>	<p>【4 会長・副会長の選出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長、副会長は委員の皆様の互選による。校長や本校の職員以外が望ましい。 ・昨年度に引き続き、会長は小杉さん、副会長は熊田さん。
<p>田 澤</p>	<p>【5 今年度の学校経営の基本方針の承認（校長）】</p> <p><学校教育目標全体構想図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標を受けた学校経営方針「すべての生徒が安心して学べ、個々の学力や体力、人間性をさらに高められる教育を実践し、地域とともにある二中を目指します」を掲げ、生徒、保護者、地域、教職員が、二中でよかったと思える教育を進めていきたい。そのためには、特色ある学校づくりなど6つの具体的な経営方針に基づき、5つの「目指す教師像」や、小中一貫教育の最終的な子どもの姿である4つの「目指す生徒像」の実現に向けて取り組んでいきたい。 <p><具体的目標と達成に向けた方策></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「自ら学ぼう」 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本をしっかり身につけさせるために、授業の目標の明確化と振り返りをしっかり実践させたい。 ・本校の学校課題にも関連する、言語活動の充実を進め、今年度は、英語と国語の授業を重点教科とし、コミュニケーション能力の育成に努めたい。 ・eラーニングを活用して、基礎・基本の定着を図りたい。 ●「豊かな心を育てよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育と他の教育活動との関連を図り、生徒の道徳性を高めていきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を充実させて、読解力や表現力の向上を図っていききたい。 ・本年度から市の施策として、図書室に新聞を三紙置くことになり、新聞に触れる機会を増やした。 ●「たくましく頑張り抜こう」 ・本校は、昼休みに外で遊ぶ生徒の数が非常に多い。先日は、160人を超える生徒が外遊びをしていた。よく遊び、よく学ぶ生徒が多い。また、昼休み終了のチャムの前にほぼすべての生徒が、校舎内に入っていた。 ・体力づくりにも取り組んでいく。昨年度は、県内の体力の上位校として表彰を受けた。 ・学校行事や社会体験活動のねらいを明確にし、工夫、改善をし、社会性を身につけさせていきたい。 ●「地域とつながろう」 ・創立30周年事業を全校体制で成功させる。 ・ふるさと学習を充実させ、郷土への愛情と誇りを醸成する。地域で育ち地域に貢献できるような生徒を育てたい。 ・昨年度から市の事業としてふくべ細工が始まった。本校では美術部が作品作りに取り組んだ。総合的な学習でもふるさと学習を推進していきたい。 ●教育専門職としての職能向上 ・先生方にしっかりとした学級経営力を身につけさせたいので、各種研修等を設定している。 ・保護者、地域と連携し、安心感のある信頼される学校を目指している。 ●本年度の学校組織 ・本年度7名の教職員が転出、今年度8名の新しい教職員と教員業務支援員1名が加わった。
高 山	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の学校経営方針について何か質問があれば。 (特になし) ・本年度の学校経営方針について、ご承認いただける方は、拍手をお願いします。 (全員拍手により承認)
中 里	<ul style="list-style-type: none"> 【パワーアップアクションプランについての提案（地域連携教員）】 ・パワーアップアクションプランは、学校、子ども、家庭、地域が、連携・協働し、地域とともにある学校をめざした企画書である。 ●「自ら考え学ぶ生徒」 ・学校生活の中心は、授業。各教職員ともに「わかりやすい授業」をめざして、日々

	<p>の授業に取り組んでいる。今年度の研究主題が、言語活動の充実ということで、各教科ともコミュニケーション能力の育成に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の確立のために、学年懇談や三者面談などの機会を利用し、家庭学習への協力を積極的に呼びかけていきたい。 ・タブレットは、基礎基本の定着から発展的な課題の解決まで、幅広く活用していきたい。 <p>●「思いやりのある生徒」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、家庭、地域ともに大切なことは、子どもをほめる機会を設け、子どもの良さを認め、自己肯定感や自己有用感を育むこと。学校としては、学校行事や委員会、清掃などに主体的に取り組ませて、子どもたちの活躍の場面を多くつくってきたい。 <p>●「体力と気力をきたえる生徒」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝8時10分から立腰で、登校後のざわざわした雰囲気が収まり、心を落ち着かせて、学校生活の始まりを意識することができている。「早寝、早起き、朝ご飯」にも力を入れ、家庭と連携をとって取り組んでいきたい。 ・昼休みに外遊びをする生徒の数が非常に多い。運動に楽しんで取り組んでいる生徒が多い。 ・あいさつに関しては、小学生とのあいさつ運動やクリーン活動の機会を生かして、意識を高めていきたい。 <p>●「地域とともにある学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も学校からの各種便りや学校のホームページを使って、学校の様子や取り組みを伝えていきたい。コロナによる制限も緩和されてきたので、生徒と地域の方々との交流を、できる範囲で推進していきたい。 <p>【協議並びに情報交換】</p>
高 山	パワーアップアクションプランについて何かご意見があればお願いしたい。
熊 田	祇園小でもあいさつを重点的にという話があった。あいさつは基本であり、また、小中一貫を推進されているので3校で重点化したのかなと思った。
高 山	小中一貫教育で指標を設定した。指標の中の豊かな人間性という枠組みで、あいさつを焦点化し、3校で取り組んでいくことになった。
大 森	昨年度、緑小では、あいさつ運動について回覧板を回して、地域の方にも周知していた。二中区としてそのような動きはあるのか。
高 山	今年度二中の校長室通信を祇園小、緑小の回覧の日に合わせて地域で回覧していただくことになった。先日第1号をお願いした。あいさつ運動についても地域の方にお知ら

	せしたい。
大 森	緑小は子供が書いた手紙を回覧板に入れてもらった。子どもからのメッセージは心に響くので、二中でも生徒会や委員会などの活動で、子供が書いた手紙を回覧板に入れさせてもらえるといいのかなと思う。
高 山	参考にさせていただいて、実現させたいと思う。
熊 田	前回の三校合同協議会の時に、今年度も子どもの手紙を載せますかと聞かれた。今年度は、3校で載せると伝えておく。
田 澤	自治会長さんあてに回覧お願いしますという文書を、小学校のネットワークを使って届けてもらった。また、昨年度の学校評価で「ホームページで学校の情報が発信されていない」と回答する生徒の意見が多かった。学校からの情報が、子どもたちも含めて地域の目に触れるような機会をつくっていききたい。
	【連絡・その他（事務局）】
	<今後の年間計画について>
高 山	年6回の学校運営協議会を計画している。第2回目は授業参観、給食試食会、親子学び合い事業。第3回は体育祭。第4回は3校合同学校運営協議会。第5回はALTとのコミュニケーションの日。第6回は学校評価の結果などについて。 年間予定について何かご意見があれば。
秋 元	体育祭が、なぜ今年は9月なのか。9月は残暑が厳しくないか。
高 山	例年は6月に行っていたが、部活動の春季の大会がなくなり、夏の総体に一本化され、6月開催になった。総体に3年生の気持ちを集中できるようにしたい。また、修学旅行が5月の末、合唱コンクールが6月の末で、それぞれの行事に子どもたちが、集中して一生懸命取り組めるように体育祭を9月にした。
田 澤	ちなみに南河小中を除く市内の中学校は、3校とも9月開催。
高 山	その他で、何かこの場で協議するようなことがあればご意見をいただきたい。
大 森	PTA から1つお願い。30周年記念式典に向けてPTA でも予算を組んでいる。運営協議会の方にも何か一緒に活動できるようなことがあれば、お願いしたい。
熊 田	親子除草作業について、毎年グリーンクラブに協力をお願いしている。例年、2回目だけ協力依頼の文書を出していた。今年も2回目だけでいいのか。
田 澤	それでいいと思う。
林	1年の細かい計画が大体決まっているのにびっくりした。
大 森	部活動が変わることについては。
田 澤	生徒数が減少し活動が困難な部は、廃部を含めた検討をしていかなければならない時期にある。子どもの数が減り、教員の数も減っているなので、部活動の維持が困難にな

	<p>ってきている。入学式で市の教育委員会から、今後の部活動について説明があった。令和6年の後期をめぐり、土日の部活動を地域の総合型スポーツクラブ等に移行し、平日の部活動は、学校の教職員がみるようにする。下野市としては、多くの部活動を地域に移行していくように検討を進めていく。学校として単独では部活動を維持しにくい。地域と一緒に子供たちの活動の場を確保していく。他の市町に比べ、下野市は、明確な方針を打ち出している方である。</p>
大森田澤	<p>地域移行の話は、運動部がメインなのか。</p> <p>文化部も当然地域移行の対象だが、地域の受け皿が文化部はあまりない。しかし、他地区に比べ二中学区は受け皿があると思われるので、モデルケースとして進めやすいのでは。学校運営協議会の皆様にもいろいろとアドバイスをいただきたい。</p>
大森高山坂倉田澤熊田中里田澤	<p>国の方針を見ても、運動部がメインで、文化部は取り残されている感がある。</p> <p>今年の1年生は、女子が33名しかいない。</p> <p>野球部に女子が2人いる。男子と一緒に練習しているのか。</p> <p>女子も一緒に練習している。女子がピッチャーをやっている学校もある。</p> <p>男子バスケットボール部は人数が多い。</p> <p>小学校に母体があるのでその影響が大きい。</p> <p>バスケットボール部やサッカー部は、南河小中にないので、学区外から来る生徒も多い。</p>
高山	<p><下野市ふれあい学習推進委員会委員の選出></p> <p>最後になりましたが、市のふれあい学習推進委員会の委員は、2年任期ということで今年度も小杉さんをお願いしたい。</p>
小杉	<p>承知した。</p>

<以上>